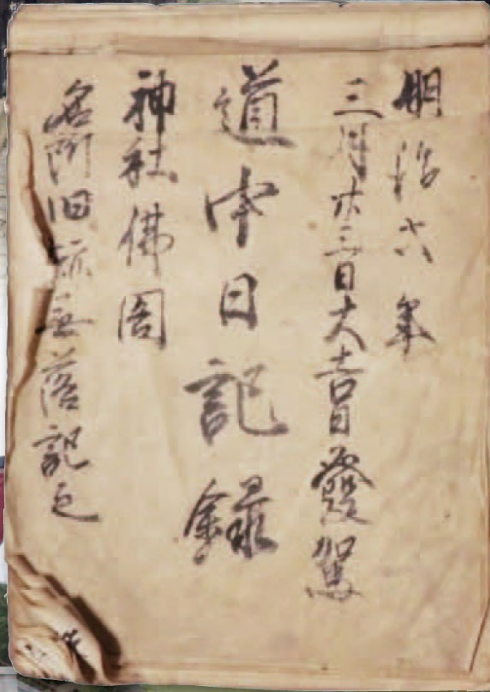


令和元年度重要文化財馬場家住宅企画展

明治初めの旅事情

道中日記録を手がかりに



馬場治左衛門「道中日記録」(明治6年)

八幡堀

妻籠宿

高野山

妻籠宿

八幡堀

高野山

令和元年 9月14日(土) ~ 10月27日(日)

【会場】重要文化財 馬場家住宅

松本市内田357-6 TEL/FAX 0263-85-5070
E-mail : baba@city.matsumoto.lg.jp

【観覧料】大人個人300円

(10月1日以降310円、中学生以下・松本市内在住の70歳以上の方は無料)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)

関連事業

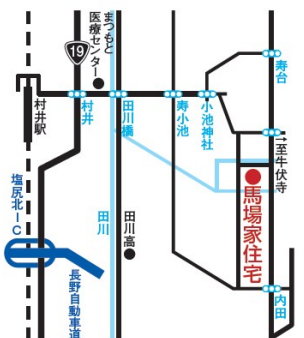
① 講演会「明治初期の旅の楽しみ方
～馬場家夫婦の旅を追って～」

日時/10月6日(日) 午後1時30分～3時
講師/服部亜由未氏 愛知県立大学准教授

② バス見学会「中山道を歩く」

日時/10月14日(月・休) 午前8時～午後5時

※ いずれも要事前申し込み。お問い合わせは馬場家住宅まで



松本まるごと博物館

URL <http://www.matsu-haku.com/>

明治初めの旅事情 ～道中日記録を手がかりに～

馬場家には、江戸時代以降の数多くの古文書が残されています。主なものは行政に關するものですが、中には現在重要文化財に指定されている主屋（嘉永4=1851）などの建物を建てた12代目当主治左衛門が、隠居後の明治6年（1873）に夫妻らで西国旅行をした際の日記としての「道中日記録」があります。そこには旅の様子がこと細かに記録されているだけでなく、江戸から明治に変わりつつある国内の様子も記されています。

本展示では、彼らが旅先で何を見てきたのか、そして明治初めの旅行とはどんなものであったのかを「道中日記録」の記載に合わせて、現在の写真などもまじえてご覧いただきます。あわせて、明治初めから近現代へと変わりゆく旅事情についてもご紹介します。

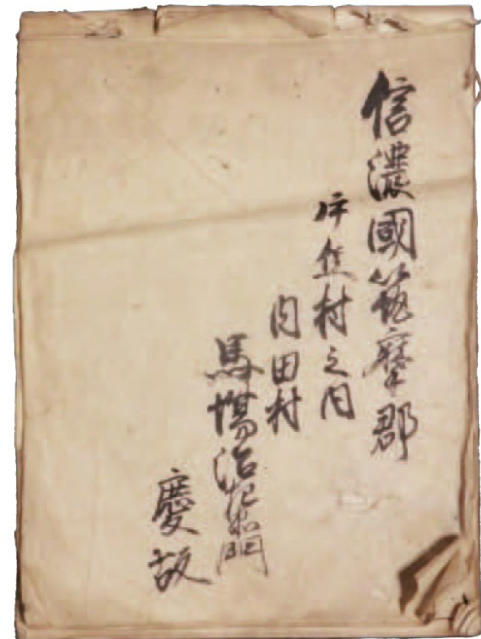
治左衛門夫妻は、内田の地を出発しておよそ3ヶ月をかけて現在の岐阜県から滋賀県、京都府、大阪府から船で香川県に渡り、再び兵庫県に渡り、大阪府から和歌山県、奈良県、三重県、愛知県から岐阜県を回ってきました。



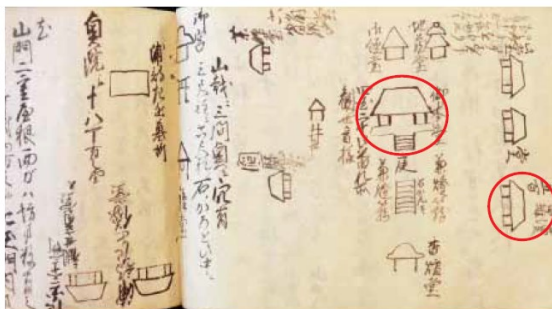
旅の道しるべ

左:一里塚(岐阜県瑞浪市 岐阜県文化財) 右:灯籠(香川県丸亀市)

一里塚は中山道琵琶峠石畳の両側に残っているものです。灯籠は丸亀港にあるもので、本来は4基ありましたが、現存するものは1基です。いずれも江戸時代に造られたものですが、治左衛門たちもこれらを見ながら旅しました。



馬場治左衛門「道中日記録」(裏表紙)



中山寺(兵庫県宝塚市)

左:道中日記録の挿絵 右:現在の中山寺

写真奥の建物が本堂、手前右手に五百羅漢堂(図の○印)があり、「案内マップ」にも描かれています。現在石段横には参拝者の便のためエスカレーターが設置されています。右奥の塔は平成29年(2017)に約440年ぶりに再建されたもので、治左衛門たちの時代にはありませんでした。



清盛塚(兵庫県神戸市)兵庫県文化財
左の道中日記の挿絵には十三重の石塔の様子が描かれています。右は平成16年(2004)に撮影したものです。



津島神社(愛知県津島市)

左:道中日記録の挿絵 右:現在の津島神社

写真の鳥居は挿絵の右下(図の○印)に描かれたものです。その奥が山門、右手に本殿があります。現在境内にある案内図と比べてみても、ほとんど違いがありません。日記には例大祭の日時が記されており、それも案内図で紹介されています。